

2016年度以降のカリキュラム適用者

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

国際協力専攻プログラム

履修のしかた

- レベル 1000、2000 の国際協力論基礎の科目をまず初めに履修することを勧めます。(レベル 1000 と 2000 の間にはそれほど差がありません。1 年生でレベル 1000 の履修が出来なかった学生は、なるべく 2 年生で履修してください)。次に、2~3 年生でレベル 3000 の科目を履修することを勧めます。国際関係の科目は、興味に応じて 2~3 年生で履修してください。演習科目は、2~3 年生での履修を想定しますが、リベラルアーツ学群の国際協力フィールドワークは 2 年生から履修できます。LA 基礎の国際理解教育プログラムは 1 年生でも履修が可能です。
- 1 年次に履修しておいた方がいい科目
基礎教育科目の社会理解 (国際協力入門)、人間理解 (人を助けることを考える)、専攻科目の国際協力入門 (NGO 論) など
- 2 年次に履修しておいた方がいい科目
国際協力論、人間の安全保障、子どもと開発、ジェンダーと開発、アジア女性論、国際交流論、国際法、国際機構論など

他の専攻プログラムとの関係

- 特に関連性のつよい専攻プログラム
国際協力専攻プログラムは国際関係専攻プログラムと近い関係にあります。なるべく多く、興味をもった国際関係専攻プログラムの科目の履修を勧めます。
- マイナーとして推奨する専攻プログラム
国際協力専攻プログラムの専門分野で、LA で履修可能なものはマイナー (または、ダブルメジャー) として履修を勧めます。非常に多くの専門分野がありますが、例えば、教育学 (教職教育)、環境学、社会学、文化人類学、倫理学、地域研究、公共政策などが考えられます。
- 他の専攻プログラムで履修を推奨する科目
国際協力を実践することを希望するのであれば、英語力が欠かせません。毎学期、1 科目以上の英語の履修を勧めます。また、TOEIC、TOEFL などでの自分の英語力を把握することを勧めます。特定の国に興味があるのならば、それらの国の言語の習得も重要です。(カンボジア語等のアジア言語)。

留学・教職その他

- 留学について
JYA、GO プログラムなど英語圏への留学は勧めます。また、フィリピン、バングラデシュ、インドの英語圏開発途上国の提携校への留学も国際協力専攻プログラムならではの留学先として検討してみてください。
- 教職 (社会科関連) について
教職希望者は、概論科目を履修することで国際協力専攻プログラムの科目にもできます。
- 毎年開催しているイベント
国際協力専攻プログラムでは、公開授業、講演会がよくあります。掲示に注意してください。春はボランティアフェスタ、秋は国際協力フェスタを国際協力専攻の学生たちが主体で行っていますので、ぜひ参加してみてください。
国際協力専攻オリジナルサイト <http://www.obirin.ac.jp/la/ico/>

学生へのメッセージ

- “Think Globally, Act Locally.” 国際協力専攻プログラムでは、自分の頭で問題は何か考え、解決のための実践をしていける自立心をもった国際的人材の育成を目標にしています。多くの本を読み、現場で人々から話を聞き、自分で判断し、メッセージを発信できる人、そんな人になるために様々な機会を提供するのが、この専攻プログラムです。皆さんの参加をお待ちしています。

国際協力専攻プログラム

1 国際協力 教育・子ども・ジェンダー履修モデル

この履修モデルは、国際協力の中でも子どもや女性などの社会的弱者へのエンパワメントを中心に学ぶためのモデルです。紛争などがない一見平和な状況のなかでも、貧困や社会的差別のために苦しむ子どもや女性が多くいます。これらの社会的弱者の権利を守っていくことを目的とする国際協力です。

国際協力専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	○	INT1000L	国際協力入門(NGO論)	4		ANS2381L	発展途上国論	4								
		LAW1000L	法律学概論(国際法を含む)	4												
基礎		SOC1000L	社会学概論	4		ETH2000L	倫理学概論	4								
		INT1002L	国際関係論	4												
		INT1001L	国際政治論	4												
トピックス						INT2132L	国際交流論	4	○	LAW3330L	難民・移民の人権	4				
					○	INT2340L	人間の安全保障	4	○	ANS3381L	アジア女性論	4				
										INT3341L	持続可能な開発	4				
										INT3342L	子どもと開発	4				
										INT3343L	ジェンダーと開発	4				
										INT3344L	平和構築論	4				
理論										ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
					○	INT2112L	国際協力論	4	○	ECO3132L	経済開発論	4		INT4340L	国際協力特論(グローバル・ガバナンス)	4
						LAW2130L	国際法	4	○	LAW3231L	国際協力法	4				
									○	LAW3230L	国際人権法	4				
										INT3110L	国際機構論	4				
実習										POL3130L	比較政治学	4				
						INT2600L	国際学インターンA	2		INT3310L	平和論	4				
						INT2601L	国際学インターンB	2		INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4				
						INT260*L	NGO/NPO 実務実習A	1~4		INT360*L	NGO/NPO 実務実習B	1~4				

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・教育原理(教職課程)[2]
- ・教育心理学(心理学)[2]
- ・教育思想[2]
- ・生涯発達心理学[4]
- ・家族心理学[4]
- ・社会調査法[4]
- ・文化社会学[4]
- ・女性とメディア[4]
- ・子供とメディア[4]

国際協力専攻プログラム

2 国際協力 紛争・平和構築について学ぶ履修モデル

この履修モデルは、国際協力のなかでも紛争や戦争に関連して、紛争の発生原因、紛争の平和的解決、その後の復興支援、難民支援などを中心に学ぶための履修モデルです。国際関係専攻プログラムの科目を多く履修することになります。

国際協力専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000			3000			4000		
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	
導入		INT1000L	国際協力入門(NGO論)	4		ANS2381L	発展途上国論	4					
		LAW1000L	法律学概論(国際法を含む)	4									
基礎		SOC1000L	社会学概論	4		ETH2000L	倫理学概論	4					
	○	INT1002L	国際関係論	4									
	○	INT1001L	国際政治論	4									
トピックス						INT2132L	国際交流論	4	○	LAW3330L	難民・移民の人権	4	
					○	INT2340L	人間の安全保障	4		ANS3381L	アジア女性論	4	
										INT3341L	持続可能な開発	4	
										INT3342L	子どもと開発	4	
										INT3343L	ジェンダーと開発	4	
									○	INT3344L	平和構築論	4	
理論										ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2	
						INT2112L	国際協力論	4		ECO3132L	経済開発論	4	
					○	LAW2130L	国際法	4	○	LAW3231L	国際協力法	4	
										LAW3230L	国際人権法	4	
										○	INT3110L	国際機構論	4
										POL3130L	比較政治学	4	
実習										○	INT3310L	平和論	4
						INT2600L	国際学インターンA	2		INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4	
						INT2601L	国際学インターンB	2		INT360*L	NGO/NPO 実務実習B	1~4	
						INT260*L	NGO/NPO 実務実習A	1~4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・紛争論〔4〕
- ・政治過程論〔4〕

国際協力専攻プログラム

3 国際協力 援助政策について学ぶ履修モデル

この履修モデルは、政府や国際機関による公的な援助政策を中心に、NGOなどの小規模な援助主体の援助政策も含めて、国際協力のマクロな政策運営について学ぶための履修モデルです。経済学を同時に履修することが多くなります。

国際協力専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000				
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	
導入	○	INT1000L	国際協力入門(NGO論)	4	○	ANS2381L	発展途上国論	4									
		LAW1000L	法律学概論(国際法を含む)	4													
基礎		SOC1000L	社会学概論	4		ETH2000L	倫理学概論	4									
		INT1002L	国際関係論	4													
		INT1001L	国際政治論	4													
トピックス						INT2132L	国際交流論	4		LAW3330L	難民・移民の人権	4					
						INT2340L	人間の安全保障	4	○	ANS3381L	アジア女性論	4					
									○	INT3341L	持続可能な開発	4					
									○	INT3342L	子どもと開発	4					
									○	INT3343L	ジェンダーと開発	4					
										INT3344L	平和構築論	4					
理論										ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2					
					○	INT2112L	国際協力論	4	○	ECO3132L	経済開発論	4	○	INT4340L	国際協力特論(グローバル・ガバナンス)	4	
						LAW2130L	国際法	4		LAW3231L	国際協力法	4					
										LAW3230L	国際人権法	4					
										○	INT3110L	国際機構論	4				
										POL3130L	比較政治学	4					
実習						INT2600L	国際学インターンA	2	○	INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4					
						INT2601L	国際学インターンB	2		INT360*L	NGO/NPO 実務実習B	1~4					
						INT260*L	NGO/NPO 実務実習A	1~4									

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・基礎ミクロ経済学〔2〕
- ・基礎マクロ経済学〔2〕
- ・政治経済学〔4〕
- ・社会政策〔4〕
- ・社会保障論〔2〕
- ・労働経済論〔4〕
- ・厚生経済学〔2〕
- ・公共経済学〔4〕
- ・社会経済学〔4〕
- ・マクロ経済学〔4〕
- ・ミクロ経済学〔4〕

国際協力専攻プログラム

4 国際協力 多文化共生・弱者の人権保護について学ぶ履修モデル

この履修モデルは、国際協力・国際交流や人の移動に伴う多文化社会、さらに人権に関して学ぶためのモデルです。文化人類学や地域研究など、文化を扱う科目も履修するとよいでしょう。

国際協力専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	○	INT1000L	国際協力入門(NGO論)	4		ANS2381L	発展途上国論	4								
		LAW1000L	法律学概論(国際法を含む)	4												
基礎		SOC1000L	社会学概論	4		ETH2000L	倫理学概論	4								
		INT1002L	国際関係論	4												
		INT1001L	国際政治論	4												
トビックス					○	INT2132L	国際交流論	4	○	LAW3330L	難民・移民の人権	4				
					○	INT2340L	人間の安全保障	4	○	ANS3381L	アジア女性論	4				
										INT3341L	持続可能な開発	4				
									○	INT3342L	子どもと開発	4				
									○	INT3343L	ジェンダーと開発	4				
										INT3344L	平和構築論	4				
理論									○	ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
						INT2112L	国際協力論	4		ECO3132L	経済開発論	4		INT4340L	国際協力特論(グローバル・ガバナンス)	4
						LAW2130L	国際法	4	○	LAW3231L	国際協力論	4				
									○	LAW3230L	国際人権法	4				
										INT3110L	国際機構論	4				
実習										POL3130L	比較政治学	4				
										INT3310L	平和論	4				
						INT2600L	国際学インターンA	2	○	INT36**L	国際協力フィールドワーク	1~4				
						INT2601L	国際学インターンB	2		INT360*L	NGO/NPO 実務実習B	1~4				
						INT260*L	NGO/NPO 実務実習A	1~4								

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・文化人類学〔4〕
- ・民族研究〔4〕
- ・アメリカの社会〔4〕
- ・中国文化論〔4〕
- ・日本文化論〔4〕
- ・日韓交流史〔4〕
- ・日米交流史〔4〕
- ・東南アジアの現代社会〔4〕
- ・メディアと人権〔4〕